

公表:令和 5年 4月1日

事業所名 キリアン

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			児童発達支援室と放課後等デイサービス室を分けて支援している	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			専門性のある職員を配置	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○			手すりに滑り止めなどを検討している
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			毎日の清掃、アルコール消毒の実施	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎月の会議にて随時確認	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者とのコミュニケーションを大切にしている	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		就労事業所に依頼し業務改善を行っている	就労事業所社長に評価頂く
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月の会議にて実施	毎月の研修は継続し、スキル向上を図る
適切な 支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			月間評価と会議以外にも随時情報共有を行い、都度見直しをしている	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○			具体的ではないがある程度支援内容を設定している
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児発管を中心に全員で立案、検討を行っている	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月固定無し	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別活動と集団活動を分けているため支援計画にも反映している	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日のルーティンに含まれている	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			職員間の振り返りや申し送りは必ず共有している	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			管理者主導による会議にて判断している	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			関係機関から相談を頂き対応している	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			受け入れ無し	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			受け入れ無し	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			各先生と情報共有を実施	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			未就学児のみ	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			直接事業所に見学に来て頂きご指導と相談をしている	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○				今後はたくさんの交流を持つように努力する

	②9 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか			○		子ども部会、子育て会議に3回参加(八軒、西町地区)
	③0 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎日写真付きで情報共有を行っている	学校や幼稚園に参観する機会を増やす
	③1 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○				相談室等関係機関との連携を強化していく
	③2 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に必ず実施、利用者負担の変更時と同じ	
	③3 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				ガイドラインを確認しながら作成、説明、同意を得ている
	③4 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			家庭連携にて支援を実施	職員の意見を取り入れ保護者に助言を支援を行っていく
	③5 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者参観を実施	年齢や学年別に実施していく
	③6 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			要望があった際は迅速に対応	
	③7 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月通信を発行	一カ月前には土曜開所予定日を伝えていく
	③8 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③9 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				関係機関と連携している
	④0 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			縁日を開催した際は近隣の住民や担任の先生など参加して頂いている	
	④1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			設備含め実施	
	④2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に4回以上の避難訓練の実施	
	④3 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			薬剤関係の把握を職員一同行っている	
保護者への説明責任等						
非常時等の対応						

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			会議時に実施。新しい情報は都度研修実施。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			事前に説明済	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。